



平成 20 年 12 月 19 日

各 位

会社名	スパークス・グループ株式会社
代表者の役職名	代表取締役社長 阿部 修平 (JASDAQコード番号:8739)
問い合わせ先	取締役 藤井 幹雄
電話番号	03-5437-9700

子会社の株式譲渡契約の締結および特別利益の発生に関するお知らせ

当社は、平成 20 年 12 月 19 日開催の取締役会において、連結子会社 Cosmo Investment Management Co., Ltd. (韓国、ソウル市:以下、「コスモ社」といいます)の発行株式を当社グループから韓国ロッテグループの関係会社(韓国、ソウル市:以下、「韓国ロッテ」といいます)に対して譲渡する件に関して、当社グループ関係各社と韓国ロッテ関係各社との間の関連諸契約の締結を決議いたしました。なお、本件の契約のクロージングをもって特別利益が発生するため、併せお知らせいたします。

記

1. 株式譲渡契約の締結の理由

コスモ社は、平成 17 年 2 月に当社グループの一員となって以降、当社グループとの連携によりオルタナティブ運用へのビジネスモデルの拡大や海外へのマーケティングの強化を通じて大きく成長しています。一方で、当社は、昨今の韓国における個人金融資産の増大及び退職年金を含めた年金市場の成長に伴い、コスモ社の更なる発展、拡大の手段を検討してまいりました。

その中で、当社および韓国ロッテは、平成 20 年 6 月 9 日付プレスリリース「スパークスと韓国ロッテは、韓国の Cosmo Investment Management Co., Ltd. についての資本提携樹立に向けて本格的に検討を開始」でお知らせした通り、韓国ロッテとの戦略的な連携について協議を重ねた結果、コスモ社を韓国を代表する資産運用会社へと成長させることを目的に、今回のコスモ社についての資本提携に関する具体的な合意に達したものです。

今後は、コスモ社の株式を保有し経営していくことを通じ、当社と韓国ロッテが提携関係を樹立していく予定です。具体的には、ロッテ損害保険など韓国ロッテのグループ会社と連携した商品開発や韓国ロッテが保有する不動産、余裕資金、流通網の積極活用などにより、相乗効果の実現を目指します。なお、今後のコスモ社の経営については、実績のある Kwon-Uk Choi 代表取締役など現在の経営体制を引き続き維持する方針です。

2. Cosmo Investment Management Co., Ltd. (コスモ社)の株式譲渡契約の締結について

(1) コスモ社の概要

- | | | |
|---------------|---|---|
| ① 商 | 号 | Cosmo Investment Management Co., Ltd. (未公開企業) |
| ② 主 な 事 業 内 容 | | 投資顧問(一任および助言)業務 |
| ③ 設 立 年 月 日 | | 平成11年6月10日 |
| ④ 本 店 所 在 地 | | 7th Floor, POSCO Center, 892, Daechi4-Dong,
Gangnam-Gu, Seoul, Korea |

- ⑤ 代 表 者 名 Kwon-Uk Choi
- ⑥ 資 本 金 の 額 4,366 百万ウォン (平成20年3月31日時点)
(参考:441百万円)
- ⑦ 発 行 済 株 式 数 846,140 株
(平成20年11月30日現在)
- ⑧ 純 資 産 58,760 百万ウォン (平成20年3月31日時点)
(参考:5,940 百万円)
- ⑨ 総 資 産 78,168 百万ウォン (平成20年3月31日時点)
(参考:7,902 百万円)
- ⑩ 事 業 年 度 の 末 日 3月31日
- ⑪ 従 業 員 数 35名 (平成20年3月31日時点)
- ⑫ 主 な 事 業 所 韓国、ソウル市
- ⑬ 株 主 構 成 SPARX International Ltd. (80.1 %)
及 び 所 有 割 合 Kwon-Uk Choi (9.4 %)
(平成20年11月30日現在) 役職員等 (10.5 %)
- ⑭ 最近の事業年度における業績の動向 (韓国会計基準、単体)

	平成19年3月期	平成20年3月期
営 業 収 益	27,522 百万ウォン	60,114 百万ウォン
(参考)	3,456 百万円	6,077 百万円
当 期 利 益	14,368 百万ウォン	33,912 百万ウォン
(参考)	1,804 百万円	3,428 百万円

注) 円貨換算の参考値の算定にあたっては各時点の TTM を使用しています。

(2) 株式譲渡先の概要

本件については、韓国ロッテグループの7社(ロッテカード、ロッテショッピング、LOTTE MIDOPA、ロッテ驛舎、ロッテ大山油化、K ケミカル、ロッテ製菓の計7社)が譲渡先になります。主たる株式譲渡先であるロッテカード株式会社(今回の株式譲渡によりコスモ社の発行済株式数の6.82%を保有)および韓国ロッテグループの概要は以下のとおりになります。

- ① 商 号 ロッセカード株式会社
- ② 主 な 事 業 内 容 与信専門業、旅行業、保険代理店業、通信販売業
- ③ 本 店 所 在 地 ソウル市江南区三成洞
- ④ 代 表 者 名 Byung-Koo Lee
- ⑤ 設 立 年 月 日 平成14年12月3日
- ⑥ 資 本 金 の 額 378,209 百万ウォン(参考:24,522 百万円)
(平成20年9月30日現在)
- ⑦ 大 株 主 ロッセショッピング(92.54%)
(平成20年9月30日現在) ロッセキャピタル(4.59%)
ホテルロッテ(1.24%)
- ⑧ 当 社 と の 関 係 資本関係: 該当事項はありません。
人的関係: 該当事項はありません。
取引関係: 該当事項はありません。

注) 円貨換算の参考値の算定にあたっては、便宜上、平成20年11月末の TTM を使用しています。

韓国ロッテグループの概要

概況	百貨店、ホテル、石油化学会社など、グループ全体で売上高 35 兆ウォン(参考:2.5 兆円、(注) 円貨換算の参考値の算定にあたっては 100 ウォン=7.13 円の換算レートを使用しています)、系列会社数 50 社、従業員数 5 万 3 千人を抱える、韓国最大の企業グループの 1 つ。ロッテカードの会員数約 1,400 万人、ロッテドットコム of 会員数約 1,200 万人など、多くの顧客接点を有しています。
主な系列会社	<ul style="list-style-type: none"> ● ロッテショッピング ● ホテルロッテ ● ロッテ製菓 ● 湖南石油化学 ● ロッテ大山油化 ● KP ケミカル・ロッテ建設 ほか
海外事業状況	<p><中国> ロッテデパート、ロッテマート、ロッテ製菓 ほか</p> <p><ロシア> ロッテデパート、KP ケミカル ほか</p> <p><ベトナム> ロッテ製菓、ロッテリア ほか</p> <p><インド> ロッテショッピング、ロッテ製菓 ほか</p> <p><インドネシア> ロッテマート ほか</p>

(3) 譲渡株式数、譲渡価額及び譲渡前後の所有株式の状況

① 異動前の所有株式数 (議決権の数)	677,557 株 (所有割合 80.1%) (677,557個)
② 譲渡対象株式数 (議決権の数)	177,689 株 (譲渡価額 62,901百万ウォン、参考:4,078百万円) (177,689個)
③ 異動後の所有株式数 (議決権の数)	499,868 株 (所有割合 59.1%) (499,868個)

注) 円貨換算の参考値の算定にあたっては、便宜上、平成 20 年 11 月末の TTM を使用しています。

3. 日程

平成 20 年 12 月 19 日 取締役会決議 株式譲渡契約の締結
平成 21 年 2 月 株式売買の効力発生日(クロージング日)(予定)

4. 今後の見通し

本件の株式譲渡により、当社連結損益計算書の特別利益に約36億円の関係会社株式売却益の計上が見込まれます。この売却益は連結財務諸表作成上、第4四半期期首に株式を売却したとみなして処理することを前提として算出したものです。本件による平成21年3月期の当社業績への影響は、確定次第開示いたします。

5. その他重要な事項等

本株式譲渡契約には、コスモ社の株式を段階的に取得する目的で、韓国ロッテがコスモ社の株式を購入することができるコールオプションを 2 個保有する契約が含まれています。1 回目は発行済株式数の 8.9%に当たる株式数、2 回目は発行済株式数の 21.1%に当たる株式数を対象としており、両方が行使された場合、韓国ロッテは、コスモ社の発行済株式数の 51%を保有することになり、当社は 49%を保有すること

になり、これに伴い子会社の異動が生じます。それにかかる適時開示の必要性が生じた場合は、すみやかに開示をいたします。

なお、今回の株式譲渡のクロージングは韓国当局の許認可等の事前先決条件が満たされるのを前提条件にします。

(以 上)